

open,

[Brown P09 20]

1.2 no good (at)

not good と no good は明確な意味の違いがある。no good は “not very useful” であり、not good at は “clever, skillful” の意味である。ところが no good が no good at の形になって not good at の意味で使われることがある。実例をあげる。

- (8) What if it doesn't work out? What if I'm bored with it? What if I'm *no good* at it? What if I just can't cut the mustard?

[OED2, s. v. mustard (1974)]

- (9) I'm *no good at* swearing. My parents sorely neglected my education in profanity.

[LA 1994]

1.3 one's ability to do/of doing

John is able to do を名詞化すれば John's ability to do の形になるはずであるが、まれに ability of doing の形をとることがある。これは、最初に『英語教育』QB (1987年3月号、88年1月号、小西) で論じられ、この時に Quirk *et al.* (1985 : 1272) に He lost the *ability to use his hands/of using his hands*. の両方が可能であることが示されていることが土家氏が、また、LDCE (初版) でも capable の定義に “having the ability of doing or being, or the power to do or be” の定義があることも岩瀬氏が指摘した。また、Quirk *et al.* (1985 : 404) に、次の文があることも指摘された。

- (10) We consider the *ability of* functioning both attributively and predicatively to be a central feature of adjectives.

Brown には次の例がある。

- (11) Just yesterday we had met and talked with a living writer, a contemporary of the dead poet, who is known for his *ability of* manipulating his ideas and his craft more advantageously. [BROWN J62 32]

このような例は ability to do と同時に ability of doing が使われることは必ずしも否定できないことを示している。これは、the probability of doing the job といった構造からの類推によって生じた構造と考えることができる。(10)では to be

という不定詞構文が後続しているからそれを避けたのではないかという考え方もあるが、(11)では不定詞は伴っていない。やはり類推と考えることが妥当であるように思われる。

2 混交 (Blending)

2.1 語彙レベルの混交

混交は2つの場合がある。ひとつは、意味的に類似しているが統語的な特徴が異なる形式 A と B の混合した形式として、A と B と異なる新たな形式 C が生じる場合である。そして、この新しい形式 C は A, B と共存する。このような現象は例えば、普通の動詞である dare が助動詞の dare と混交し、中間的な(12)のような形式をとる場合がある。これを語彙レベルの混交と言う。

- (12) a. They *do not dare* ask for more.

- b. *Do they dare* ask for more?

また、can't help doing と can't help but do が混交し、can't help but do のような形式をとる場合もそうである。OED2 の用例から見る限りこの混交構文は新しく、19世紀の末になって初めて現れる。OED2 から新しい例をあげる。

- (13) a. One *can't help but have* a nagging doubt about the possible consequences of this rise in dolphinarium.

[s.v. dophinarium (1971)]

- b. In the dangerous sphere of motorway driving, for example, they would not tailgate at speeds where if the man in front stopped suddenly they *could not help but stop* in exactly the same place on the road.

[s. v. tail-gate (1976)]

古い例に、cannot help but doing の形がある。

- (14) How *could* the wretches *help but marching* on, When at their backs your swords were ready drawn? [s. v. ready (1775)]

このように、混交は新しい統語形式を生み出すひとつの原因である。

2.2 統語レベルの混交

混交の二つめは、統語の範疇レベルのものである。当然のことであるが、(表面上の) 統語形式は数が限られている。節 (clause) の形式がいくつ